

令和6年度 墨坂中学校区 小中連携学力向上グランドデザイン

須崎市教育大綱

3 特色ある教育の推進

地域の子どもは地域で育てる基本理念の下で、主体的・対話的で深い学びやICTの活用等を推進し、次代を担うたくましい人材を育む教育のまちを目指します。

墨坂中学校区 目指す子どもの姿
問いや願いをもち、友と関わり合いながら、粘り強く追究していく児童生徒

墨坂中学校区 児童生徒・学区の状況
 ・5校共通の重点として育成する資質・能力を「自ら進んで学びに取り組む力」「基礎的な知識・技能」とし、各校の研究につなげながら、実践を積んでいくこと。
 ・重点とする資質・能力を身につけることで、「問いや願いをもち、友と関わり合いながら、粘り強く追究していく児童生徒」を育むこと。

目指す子どもの姿へのアプローチ

須崎市の3つの学力課題への取組

課題1 小学校高学年、中学生の学力向上

- 日々の授業を改善する
 - ・問いや願いからはじまり、友と対話しながら追究し、学びを振り返る授業をつくる
 - ・追究場面の工夫、教師の言葉かけの工夫等、学びを支える教師の支援の力を高める
- 自ら学習を進めていく力を育む
 - ・ドリル学習の時間を設定し、取り組み方、取り組む内容の工夫を重ねる
 - ・自由進度学習の実践を重ねる

課題2 基礎基本定着の仕組みづくり

- 日々の授業を改善する
 - ・基礎基本の定着を図る時間を授業の中に位置づける
- ドリルの時間の充実
 - ・全校で取り組むドリルの時間を日課に位置づける
 - ・取り組み方、取り組む内容の工夫を重ねる

課題3 D層の児童生徒の底上げ

- 日々の授業を改善する
 - ・習熟度別学習、自由進度学習等により、児童・生徒の学力に応じた授業場面を設定する
 - ・基礎基本の定着を図る時間を授業の中に位置づける
- 繰り返し取り組む場面の確保
 - ・ドリルの時間、授業内に、繰り返し取り組む場面を位置づける
 - ・基礎基本を身につけるための家庭学習を位置づける

ICT（一人一台端末）の活用への取組

- 授業に活かす
 - ・問いや願いをもつ場面、友と対話をしながら追究する場面、学びを振り返る場面でgoogle、学習ソフト等を活用する場面を設ける
- ドリル学習に活かす
 - ・デジタルドリルの活用を進める
- 教師の力量を高める
 - ・職員研修の時間を設定し、デジタル教科書、デジタルドリル、各種学習ソフトを使った学びを提供する教師の力を高める

1 児童・生徒の実態把握のもとに実践を進める

2 5校の取り組みを共有し、よさや改善点を考え合うことで、自校の実践をさらによりよいものに高めていく

墨坂中学校区 小中連携学力向上推進委員会の組織及び取組

○組織

井上小学校長、○井上小学校教頭、各校学力向上担当教員

○取組

- ・井上小学校による授業公開において、児童の具体的な姿を見合うこと
- ・児童の具体的な姿から、授業改善、学力向上に向けた取組を考え合うこと
- ・全国学力学習状況調査、ベネッセ学力テストの結果から、成果と課題点を見つけ、課題解決に向けた取組を考え合うこと

推進計画及び推進日程

- ・ 7月 8日 墨坂5校学力向上研修会① 授業公開
- ・ 7月25日 墨坂5校学力向上研修会② 授業研究会と研修会
 以上①②は、各校校長、教頭、教職員参加
- ・ 12月19日 墨坂5校学力向上研修会③ 情報交換会
- ・ 1月16日 墨坂5校学力向上研修会④ 研究のまとめ
 以上③④は、井上小教頭、各校学力向上担当教員参加